

00335

# 鳥取縣公報

縣令

本書ノ大キサハ國定規格A5判

昭和十六年十月十六日  
號外

木曜日

## 鳥取縣令第五十五號

鳥取縣諸類検査規則左ノ通定ム

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事

八田三郎

### 諸類検査規則 第一章 總則

第一條 本令ニ於テ諸類ト稱スルハ生甘藷、干甘藷、干及蒸切干、及馬鈴薯（生ノ馬鈴薯ヲ謂フ）ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ受渡ト稱スルハ賣買ノ爲本縣内ニ於テ授受スルヲ謂ヒ移出ト稱スルハ本縣外ニ搬出スルヲ謂フ

第三條 本縣内ニ於テ生産セラレタル諸類ハ本令ニ依リ行フ検査ヲ受ケタルモノニ非ザレバ之ヲ受渡シ又ハ移出スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 受渡又ハ移出スル一口ノ數量ガ第九條ニ規定スル定量ニ滿タザル端量ノモノ

二 學術研究又ハ試驗ノ用ニ供スルモノ

三 博覽會、共進會又ハ品評會等ニ出品スルモノ

四 徵發若ハ強制執行ノ目的物トナリタルモノ又ハ國有ニ屬スルモノ

五 前各號ノ外特別ノ事由ニ依リ検査ノ免除ヲ受ケタルモノ  
第四條 本縣外ヨリ搬入セラレタル諸類ニシテ本縣外ニ於テ生産セラレタルコトヲ確認シ難キモノハ之ヲ本縣内ニ於テ生産セ

鳥取縣公報

每週曜日發行

（休日ニ當ル時ハ翌日）

昭和十六年

十月十六日

（昭和四年四月十五日）  
外 第三種郵便物認可

一

00336

ラレタルモノト看做ス

第五條 本令ニ依リ検査ヲ受クルコトヲ要セザル諸類ニ付其ノ検査ヲ希望スル者アルトキハ本令ニ依リ之ガ検査ヲ行フコトアルベシ

第六條 諸類ノ検査等級ハ左ノ通トス

生甘藷 一等、二等、等外

干甘藷 合格、格外

馬鈴薯 合格、格外

前項ノ検査等級ノ標準ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 馬鈴薯ニシテ合格トナリタルモノニ付テハ左ノ選別標準

重量ニ依リ大玉、小玉及混玉ノ階級ニ之ヲ區別ス

階級 一箇ノ選別標準重量

大玉 二十五匁以上

小玉 十二匁以上二十五匁未満

混玉 大玉ト小玉ヲ混合シタルモノ

第八條 検査ヲ受クル生甘藷及馬鈴薯ノ選別ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一 品種ニ依リ區別スルコト

二 生甘藷ニ付テハ形状及大小ニ依リ馬鈴薯ニ付テハ選別標準重量ニ依リ區別スルコト

三 畸形ノモノ及損傷若ハ病蟲害アルモノハ其ノ程度ニ依リ區別スルコト

四 腐敗シ若ハ腐敗ノ徴候アルモノ又ハ土砂ノ除去不十分ナルモノヲ混入セザルコト

第九條 検査ヲ受クル諸類ノ一包裝ノ正味重量ハ左ノ各號ニ依ルベシ

生甘藷 俵入又ハ叭入 十二貫

干甘藷 俵入又ハ叭入 八貫

馬鈴薯 俵入又ハ叭入 十五貫

第十條 検査ヲ受クル諸類ノ包裝ハ左ノ各號ニ依リ一重俵裝、三

本編複式編俵裝又ハ叭入ト爲スベシ

一 一重俵裝

孤ハ能ク乾燥セル莖又ハ麥稈(干甘藷用ノモノハ能ク乾燥セル古莖)ヲ用ヒ編方ハ小繩ヲ用ヒテ四箇所ヲ密ニ編ミ其ノ封間ヲ各六寸兩鬚各五寸編手五十五内外トシ長サ約三尺八寸重量五百匁乃至六百匁ト爲スコト

機俵ハ能ク乾燥セル莖ヲ用ヒ直徑約一尺重量二箇ニテ百五十匁乃至二百匁ト爲スコト

繩ハ打柔ゲタル莖ヲ以テ綯ヒ周約九分ノ中繩ト爲スコト荷造、俵ノ小口ニ外側ヨリ機俵ヲ當テ小口際ヲ目通シ入箇所トシ

00337

千鳥掛ト爲シ横繩ハ三箇所ヲ各二廻リ充分緊括シ縦繩ハ一筋ニテ二方掛ト爲シ各横繩ニ掛戻シ小口ニ於テ引締メ男結ト爲スコト

二 三本繩複式編俵裝

孤ハ能ク乾燥セル莖又ハ麥稈(干甘藷用ノモノハ能ク乾燥セル古莖)ヲ用ヒ編方ハ一箇所ニ小繩三本ヲ用ヒテ四箇所ヲ密ニ編ミ其ノ封間ヲ中央七寸左右各六寸五分兩鬚各五寸五分編手七十内外トシ長サ約四尺重量約九百匁ト爲スコト  
機俵ハ能ク乾燥セル莖ヲ用ヒ直徑約一尺重量二箇ニテ百五十匁乃至二百匁ト爲スコト

繩ハ打柔ゲタル莖ヲ以テ綯ヒ周約九分ノ中繩ト爲スコト

荷造ハ俵ノ小口ニ外側ヨリ機俵ヲ當テ(機俵縮繩アルモノハ十文字ニ括ル)小口際ヲ目通シ入箇所トシ千鳥掛ト爲シ横繩ハ三箇所ヲ各二廻リ充分緊括シ縦繩ハ一筋ニテ二方掛ト爲シ各横繩ニ掛戻シ小口ニ於テ引締メ男結ト爲スコト

三 叭

打藪ヲ用ヒ織目四十内外長サ約五尺八寸幅約二尺九寸トシ重量ハ六百匁乃至七百匁トシ強靱ナル細繩ヲ以テ一端二十八針内外ヲ脱漏ノ慮ナキ様堅ク縫上グルコト

荷造ハ叭口ヲ卷キ兩耳ヲ中央ニ折込ミ細繩ヲ以テ締メ繩ハ周

約九分ノ中繩ヲ用ヒ縦繩ハ二廻リ二箇所横繩ハ一筋一箇所トシ各縦繩ニ掛戻シ充分緊括シ上男結ト爲スコト

第十一條 特別ノ事由ニ依リ前二條ノ規定スル重量又ハ包裝ニ依リ難キ場合ニ於テハ農産物検査所長ノ許可ヲ受ケ特別ノ正味重量又ハ包裝ト爲スコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由、諸類ノ種類別數量用途、一包裝ノ正味重量、包裝方法及仕向先ヲ記載シタル書面ヲ以テ農産物検査所長ニ申請スベシ

第十二條 検査ヲ受クル諸類ノ包裝ニハ様式第一號ノ票箋ヲ依リ在リテハ小口繩ニ、叭ニ在リテハ横繩ニ結付クベシ

第十三條 検査ヲ受ケントスル者ハ別ニ定ムル規程ニ依リ検査手數料ヲ納付スベシ

第十四條 検査ヲ受ケントスル者ハ様式第三號ノ検査申請書ヲ所轄農産物検査所出張所ニ提出スベシ

第十五條 第三條第五號ノ検査ノ免除ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由、種類、數量、荷造及仕向先ヲ記載シタル書面ヲ以テ農産物検査所長ニ申請スベシ

前項ノ規定ニ依リ検査ノ免除ヲ受ケタル者ハ當該諸類ニ其ノ種類、數量、用途、受渡當事者ノ住所氏名及検査免除ヲ受ケタル年月日ヲ記載シタル荷札ヲ附シ之ニ様式第七號ノ検査免

00338

除印ノ押捺ヲ受クベシ

第十六條 諸類ノ一口ノ數量ガ第九條ニ規定スル定量以上ノモノヲ賣買以外ノ事由ニ依リ本縣内ニ於テ授受セントスル者ハ豫メ其ノ事由、種類別數量、包裝及受渡當事者ノ住所氏名ヲ所轄農産物検査所出張所ニ届出ヅベシ

第十七條 本令ニ依ル検査施行ノ爲必要ナル諸類ノ積替、運搬、計量、解裝及改裝ノ費用ハ検査申請者ノ負擔トス

第十八條 本令ノ適用ニ因リ生ジタル損害ニ對シ縣ハ其ノ賠償ノ責ニ任ゼズ

第二章 検査

第十九條 検査ハ生甘藷及馬鈴薯ニ付テハ其ノ品質、形状、太サ(大、小)、選別、重量及包裝ニ付之ヲ行ヒ干甘藷ニ付テハ其ノ品質、乾燥、調製、重量及包裝ニ付之ヲ行ヒ其ノ品位ニ依リ検査等級及階級ヲ決定ス

第二十條 検査ハ農産物検査吏員之ヲ行フ但シ農産物検査吏員ト雖モ自己ノ利害ニ直接關係アル諸類ノ検査ニ關與スルコトヲ得ズ

農産物検査吏員其ノ職務ヲ行フトキハ様式第二號ノ證票ヲ携帶スベシ

第二十一條 検査ハ農産物検査所長ニ於テ農會又ハ産業組合等ノ

關係者ノ希望ヲ斟酌シ指定シタル場所ニ於テ之ヲ行フ但シ特別ノ事由アル場合ハ指定場所以外ノ場所ニ於テ行フコトヲ得

第二十二條 検査ハ検査申請ノ順序ニ依リ之ヲ行フ但シ農産物検査吏員必要アリト認ムルトキハ其ノ順序ヲ變更スルコトヲ得検査ハ農産物検査吏員特別ノ事由アリト認ムル場合ノ外日出前及日後後ニ於テハ之ヲ行ハズ

第二十三條 検査申請者又ハ其ノ代理人ハ検査ニ立會シ農産物検査吏員ノ指示ニ從フベシ  
検査申請者又ハ其ノ代理人前項ノ指示ニ從ハザルトキハ農産物検査吏員其ノ検査ヲ中止スルコトヲ得

第二十四條 農産物検査吏員検査ヲ行フニ當リ第八條、第九條、第十條又ハ第十二條ノ規定ニ適合セザルモノアリト認メタルトキハ其ノ検査ハ之ヲ中止ス

前項ノ規定ニ依リ検査ヲ中止シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シ十日以内ニ不備ノ點ヲ補正シテ検査ヲ受クルニ非ザレバ其ノ諸類ニ付既ニ爲シタル検査申請ハ効力ヲ失フモノトス

第二十五條 農産物検査吏員検査ヲ行ヒタルトキハ其ノ検査等級ニ應ジ生甘藷及干甘藷ニ付テハ其ノ票箋ニ様式第四號ノ検査等級證印及様式第六號ノ検査證印ヲ、馬鈴薯ニ付テハ其ノ票箋ニ様式第四號ノ検査等級證印、様式第五號ノ階級印及様式

00339

第六號ノ検査證印ヲ押捺ス

種子用ニ供スル諸類ノ検査ヲ行ヒタルトキハ前項ノ規定ニ依リ手續ヲ爲スノ外其ノ票箋ニ様式第八號ノ種子證印ヲ押捺ス

第二十六條 農産物検査吏員第二十七條、第二十九條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ諸類ノ再検査ヲ行ヒ前検査等級又ハ階級ト異リタル検査等級又ハ階級ヲ決定シタルトキハ其ノ検査等級又ハ階級ニ應ジ其ノ票箋ノ裏面ニ様式第四號ノ検査等級證印又ハ様式第五號ノ階級印ヲ押捺シ検査年月日ヲ記入シタル上様式第六號ノ検査證印ヲ押捺シ前検査等級證印又ハ階級印ハ之ヲ抹消ス前検査等級又ハ階級ト同一ノ検査等級又ハ階級ヲ決定シタルトキハ其ノ票箋ノ裏面ニ検査年月日ヲ記入シ様式第六號ノ検査證印ヲ押捺ス

第二十七條 検査申請者ニシテ検査等級ノ決定ニ對シ異議アルモノハ其ノ検査ノ終了シタル日ヨリ起算シ十日以内ニ其ノ異議ノ事由、諸類ノ種類、検査等級別數量、所在地、前検査年月日及受檢希望日時ヲ記載シタル書面ヲ以テ農産物検査所長ニ再検査ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ再検査ノ申請アリタル場合ハ前検査ニ關與セザリシ農産物検査吏員ヲシテ之ガ検査ヲ行ハシム

第三十條 農産物検査吏員必要アリト認ムルトキハ検査済ノ諸類ニ對シ再検査ヲ行フコトヲ得

第二十八條 諸類ノ票箋ニ押捺シタル検査等級證印、階級印、検査證印、検査免除印又ハ種子證印ヲ抹消スルトキハ様式第九號ノ消印ヲ用フ

第三章 取 締

第二十九條 検査済ノ諸類ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ更ニ検査ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ受渡シ又ハ移出スルコトヲ得ズ

- 一 包裝ヲ毀損シ又ハ改裝シタルモノ
- 二 検査等級證印、階級印又ハ検査證印ノ不明瞭トナリタルモノ
- 三 票箋ヲ毀損シ若ハ亡失シタルモノ
- 四 腐敗若ハ變質シ又ハ著シク損傷シタルモノ
- 五 著シク蟲害若ハ鼠害ヲ受ケタルモノ又ハ正味重量ヲ減シタルモノ

第三十條 農産物検査吏員必要アリト認ムルトキハ検査済ノ諸類ニ對シ再検査ヲ行フコトヲ得

第三十一條 検査済若ハ検査ヲ受クル諸類ニ商標、荷印其ノ他ノ

00340

表示ヲ爲サントスル者ハ其ノ事由、表示方法及實形圖ヲ記載シタル書類ヲ添へ豫メ農産物検査所長ノ承認ヲ受クベシ其ノ記載事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

農産物検査所長必要アリト認ムルトキハ前項ノ承認ヲ取消スコトヲ得

第三十二條 検査済ノ書類ヲ解装シタルトキハ其ノ票箋ヲ直ニ破壊スベシ

第三十三條 検査済ノ書類ヲ降雨雪中ニ運搬シ又ハ屋外ニ置クトキハ防寒又ハ防濕ニ必要ナル適當ノ設備ヲ爲スベシ

第三十四條 運送業者又ハ運送取扱業者ハ本令ニ依リ検査ヲ受ケベキ書類ニシテ其ノ検査ヲ受ケザルモノヲ検査場所以外ニ運送シ又ハ運送ノ目的ヲ以テ之ヲ取扱フコトヲ得ズ

第三十五條 農産物検査吏員又ハ警察官吏本令違反ノ事實アリト認メタルトキハ書類ノ所在場所ニ臨檢シ關係帳簿ヲ閱覽シ又ハ其ノ運搬停止若ハ保管又ハ關係資料ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル臨檢閱覽及命令ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第四章 罰 則

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金拘留

又ハ科料ニ處ス

一 第三條、第十五條第二項、第二十九條、第三十條第二項、第三十一條第一項、第三十二條乃至第三十四條又ハ第三十五條第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 不正ノ手段ニ依リ検査ヲ受ケ若ハ受ケントシタル者又ハ検査ヲ免ルル爲不正ノ行爲ヲ爲シタル者

三 検査済書類ニ不正ノ手段ヲ施シタル者

四 故ナク検査済書類ノ検査等級證印、階級印又ハ検査證印ヲ抹消シ若ハ變造シ又ハ票箋ヲ破壊シタル者

五 検査済書類ノ票箋ヲ不正ニ使用シ又ハ其ノ記載事項ヲ改竄シタル者

第三十七條 本令ニ依ル義務者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ従業者ガ本令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第三十八條 本令ノ規定ニ違反シタル者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

00341

第三十九條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十條 昭和十三年十一月鳥取縣令第五十九號干甘藷検査規則及昭和十五年十月鳥取縣令第六十二號甘藷検査規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第四十一條 昭和十三年十一月鳥取縣令第五十九號干甘藷検査規則又ハ昭和十五年十月鳥取縣令第六十二號甘藷検査規則ニ依リ検査ヲ受ケタル干甘藷又ハ甘藷ハ本令ニ依リ検査ヲ受ケタルモノト看做ス

様式第一號 票 箋

用紙ハ強靱ナル模造紙トスルコト

長四寸 幅二寸

縣	市郡	村町
受檢者		
昭和	年	産何々
正味重量	皆掛重量	貫
昭和	年	月
		日
		検査

様式第二號 證 票

用紙ハ模造紙 長三寸 幅二寸

第 號

農産物検査吏員證

職 氏 名

裏 面

年 月 日 交付

鳥 取 縣 印

00342

樣式第三號 檢查申請書

檢 查 申 請 書

昭和 年 月 日

住所、氏 名

名

鳥取縣農產物検査所 出張所 御中

左記ノ通検査相受度検査手数料納收証券貼付此段申請候也

生産年度	昭和	年産種類並ニ	品目別	數量	實俵
仕向先	検査	圓	錢	受檢場所	希望月日
手數料	圓	錢	月	日	

欄付貼票證收納査檢

備考 一 種類並ニ品目欄ニハ「生甘藷」、「干甘藷」又

ハ「馬鈴薯」ト記載スルコト

二 種子用ニ供スルモノノ検査申請書ニハ其ノ欄

外ニ「種」ト朱書スルコト

樣式第四號 検査等級證印

徑八分 肉色紫

生甘藷

一等 壹等

二等 貳等

等外 等外

干甘藷、馬鈴薯

合格 合格

格外 格外

樣式第五號 階級印

徑六分 肉色紫

大玉 大玉

小玉 小玉

混玉 混玉

00343

樣式第六號 検査證印

長徑六分 短徑三分 肉色紫



樣式第七號 検査免除印

徑一寸 肉色紫



鳥取縣令第五十六號

鳥取縣諸類検査手数料規則左ノ通定ム

昭和十六年十月十六日

諸類検査手数料規則

第一條 諸類検査規則(以下單ニ検査規則ト稱ス)第十三條ノ檢

査手数料左ノ如シ

生甘藷一包裝ニ付

金一錢五厘

樣式第八號 種子證印

徑三分 肉色紫



樣式第九號 消印

徑三分 肉色紫



鳥取縣知事 八 田 三 郎

干甘藷一包裝ニ付 金一錢五厘

馬鈴薯一包裝ニ付 金一錢五厘

検査規則第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ特別ノ重量ト爲シ

タルモノノ検査手数料ハ各一貫ニ付生甘藷ハ金一厘五毛干甘

00344

諸ハ金二厘馬鈴薯ハ金一厘トス  
 第二條 検査規則第二十四條第二項ニ該當スルモノノ既納手数料ハ之ヲ還付セズ

第三條 検査規則第二十七條ニ依ル再検査ノ検査手数料ハ検査等級ノ決定ガ前検査ト異リタルトキハ之ガ納付ヲ免除ス

第四條 検査規則第二十九條第二號若ハ第三號ニ該當スルモノノ再検査及検査規則第三十條ノ再検査ニ付テハ検査手数料ヲ徵收セズ

◇鳥取縣令第五十七號

麻、三極、楮検査規則左ノ通定ム

昭和十六年十月十六日

麻、三極、楮検査規則

第一章 總 則

第一條 本令ニ於テ麻ト稱スルハ大麻(精麻及皮麻)、苧麻(苧麻ノ纖維ヲ謂ヒ其ノ屑ハ之ヲ除ク以下同ジ)及黃麻(黃麻ノ纖維ヲ謂ヒ其ノ屑ハ之ヲ除ク以下同ジ)ヲ謂ヒ三極ト稱スルハ其ノ黒皮、地氣及白皮ヲ謂ヒ楮ト稱スルハ其ノ黒皮、未晒及白皮ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ受渡ト稱スルハ賣買、交換、貸借、辨濟、贈

第五條 検査手数料ハ検査規則第十四條ノ検査申請書ニ鳥取縣穀物検査手数料納收證票ヲ貼付シテ之ヲ納付スベシ

附 則

第六條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七條 昭和十三年十一月鳥取縣令第六十號干甘藷検査手数料規則及昭和十五年十月鳥取縣令第六十三號甘藷検査手数料規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鳥取縣知事

入 田 三 郎

與、擔保又ハ寄託ノ爲本縣内ニ於テ授受スルヲ謂ヒ移出ト稱スルハ本縣外ニ搬出スルヲ謂フ

第三條 本縣内ニ於テ生産セラレタル麻、三極又ハ楮ハ本令ニ依リ行フ検査ヲ受ケタルモノニ非ザレバ之ヲ受渡シ又ハ移出スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 受渡又ハ移出スル一口ノ數量ガ第七條ニ規定スル一捆ノ定量ニ滿タザル端量ノモノ

00345

一 學術研究又ハ試験ノ用ニ供スルモノ  
 三 博覽會、共進會又ハ品評會等ニ出品スルモノ  
 四 徵發若ハ強制執行ノ目的物トナリタルモノ又ハ國有ニ屬スルモノ

五 前各號ノ外特別ノ事由ニ依リ検査ノ免除ヲ受ケタルモノ  
 第四條 本縣外ヨリ搬入セラレタル麻、三極又ハ楮ニシテ本縣外ニ於テ生産セラレタルコトヲ確認シ難キモノハ之ヲ本縣内ニ於テ生産セラレタルモノト看做ス

第五條 本令ニ依リ検査ヲ受ケタルコトヲ要セザル麻、三極又ハ楮ニ付其ノ検査ヲ希望スル者アルトキハ本令ニ依リ之ガ検査ヲ行フコトアルベシ

第六條 麻、三極又ハ楮ノ検査等級ハ左ノ通トス

大 麻

精 麻 特等、一等、二等、三等、四等、五等及等外

皮 麻 特等、一等、二等、三等及等外

苧 麻

一等、二等、三等及等外但シ等外ハ検査申請者ノ希望ニ依リ之ヲ甲及乙ニ區別スルコトアルベシ

黃 麻

精製品 一等、二等、三等及等外

粗製品 一等、二等及等外

三、楮 一等、二等、三等及等外  
 前項ノ検査等級ノ標準ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 検査ヲ受ケル麻、三極又ハ楮ノ一捆ノ重量及荷造ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一 一捆ノ重量

大 麻

精 麻 八 貫

皮 麻 五 貫

苧 麻 八 貫

黃 麻 十 貫

三極、楮 五 貫

二 荷 造

大麻ノ精麻及苧麻ハ二百匁内外ヲ根元ヲ揃ヘ其ノ根元ヨリ約八寸ノ箇所ヲ共麻ニテ緊縛シテ小束ト爲シ其ノ小束十箇ヲ根元ヲ揃ヘ横ニ二段ニ並列シ根元ヨリ約二尺五寸ノ箇所ヲ折曲ゲ共麻ニテ緊縛シテ大束ト爲シ其ノ大束四箇ヲ根元ト爲ト交互ニ積重ネ(直徑約二分以上ノ)共撚麻ニテ横三箇所ヲ各二廻リ緊縛シテ一捆ト爲シ其ノ中央緊縛部ニハ検査封緘紙ヲ以テ卷封シ得ル箇所ヲ設クルコト  
 大麻ノ皮麻ハ二百匁内外ヲ根元ヲ揃ヘ其ノ根元ヨリ約八寸

00346

ノ箇所ヲ共麻ニテ緊縛シ根元ヨリ約五尺ノ箇所ヲ折曲ケ共  
 麻ニテ緊縛シテ小束ト爲シ其ノ小束二十五箇ヲ根元ヲ揃ヘ  
 テ三段ニ積重ネ(直徑約二分以上ノ)共撚麻ニテ横五箇所  
 各二廻リ緊縛シテ一捆ト爲シ其ノ中央緊縛部ニハ検査封  
 緘紙ヲ以テ巻封シ得ル箇所ヲ設クルコト

黃麻ハ二百五十匁内外ヲ根元ヲ揃ヘ其ノ根元ヨリ一尺ノ箇  
 所ヲ共麻ニテ緊縛シテ小束ト爲シ其ノ小束十箇ヲ根元ヲ揃  
 ヘ横二段ニ竝列シ根元ヨリ約三尺五寸ノ箇所ヲ折曲ケ共麻  
 ニテ横二箇所ヲ緊縛シテ大束ト爲シ其ノ大束四箇ヲ根元ト  
 番トヲ交互ニ積重ネ共麻ニテ横二箇所ヲ各二廻リ緊縛シ中  
 央部ハ(直徑約二分以上ノ)共撚麻ニテ二廻リ緊縛シテ一  
 捆ト爲シ其ノ中央緊縛部ニハ検査封緘紙ヲ以テ巻封シ得ル  
 箇所ヲ設クルコト

三種及楮ハ二百五十匁内外ヲ根元ヲ揃ヘ其ノ根元ヨリ約一  
 尺三寸ノ箇所ヲ共皮ニテ緊縛シテ小束ト爲シ其ノ小束五箇  
 ヲ根元ヲ揃ヘテ横ニ竝列シ根元ヲ交互ニシテ四段ニ積重ネ  
 仕上リノ長サ約四尺ト爲シ横四箇所ヲ共皮ニテ各二廻リ緊  
 縛シ男結トシテ一捆ト爲シ其ノ中央緊縛部ニハ検査封緘紙  
 ヲ以テ巻封シ得ル箇所ヲ設クルコト

第八條 特別ノ事由ニ依リ前條ニ規定スル積重、ハハ荷造ニ依リ難

キ場合ニ於テハ農産物検査所長ノ許可ヲ受ケ特別ノ積重又ハ  
 荷造ト爲スコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由、種類、數量、一捆  
 ノ重量、荷造方法及仕向先ヲ記載シタル書面ヲ以テ農産物檢  
 査所長ニ申請スベシ

第九條 検査ヲ受ケル麻、三種又ハ楮ニハ其ノ各捆ノ中央横繩又  
 ハ之ニ準ズル横繩ニ様式第一號ノ票箋ヲ結付クベシ

第十條 検査ヲ受ケントスル者ハ別ニ定ムル規程ニ依リ検査手數  
 料ヲ納付スベシ

第十一條 検査ヲ受ケントスル者ハ様式第三號ノ検査申請書ヲ所  
 轄農産物検査所出張所ニ提出スベシ

第十二條 第三條第一號、第二號又ハ第三號ニ該當スル麻、三種  
 又ハ楮ヲ受渡シ若ハ移出セントスル者ハ其ノ事由、種類、數  
 量、荷造及仕向先ヲ口頭又ハ書面ヲ以テ所轄農産物検査所出  
 張所ニ届出ヅベシ

第十三條 第三條第五號ノ検査ノ免除ヲ受ケントスル者ハ其ノ事  
 由、種類、數量、荷造及仕向先ヲ記載シタル書面ヲ以テ農産  
 物検査所長ニ申請スベシ

前項ノ規定ニ依リ検査ノ免除ヲ受ケタル者ハ當該麻、三種又  
 ハ楮ニ其ノ種類、數量、用途、受渡當事者ノ住所氏名及検査

00347

免除ヲ受ケタル年月日ヲ記載シタル荷札ヲシ様式第七號ノ  
 検査免除印ノ押捺ヲ受クベシ

第十四條 本令ニ依ル検査施行ノ爲必要ナル麻、三種又ハ楮ノ積  
 替、運搬、計量、解裝及改裝ノ費用ハ検査申請者ノ負擔トス  
 第十五條 本令ノ適用ニ因リ生ジタル損害ニ對シ縣ハ其ノ賠償ノ  
 責ニ任ゼズ

第二章 検査

第十六條 検査ハ麻、三種又ハ楮ノ品質、色澤、乾燥、調製、長  
 サ、重量及荷造ニ付之ヲ行ヒ其ノ品位ニ依リ検査等級ヲ決定  
 ス

第十七條 検査ハ農産物検査吏員之ヲ行フ但シ農産物検査吏員ト  
 雖モ自己ノ利害ニ直接關係アル麻、三種又ハ楮ノ検査ニ關與  
 スルコトヲ得ズ

農産物検査吏員其ノ職務ヲ行フトキハ様式第二號ノ證票ヲ携  
 帶スベシ

第十八條 検査ハ農産物検査所長ニ於テ農會又ハ産業組合等ノ關  
 係者ノ希望ヲ斟酌シ指定シタル場所ニ於テ之ヲ行フ但シ特別  
 ノ事由アル場合ハ指定場所以外ノ場所ニ於テ行フトコトヲ得  
 第十九條 検査ハ検査申請ノ順序ニ依リ之ヲ行フ但シ農産物検査  
 吏員必要アリト認ムルトキハ其ノ順序ヲ變更スルコトヲ得

検査ハ農産物検査吏員特別ノ事由アリト認ムル場合ノ外日出  
 前及日没後ニ於テハ之ヲ行ハズ

第二十條 検査申請者又ハ其ノ代理人ハ検査ニ立會シ農産物検査  
 吏員ノ指示ニ從フベシ

検査申請者又ハ其ノ代理人前項ノ指示ニ從ハザルトキ農産物  
 検査吏員其ノ検査ヲ中止スルコトヲ得

第二十一條 農産物検査吏員検査ヲ行フニ當リ第七條又ハ第九條  
 ノ規定ニ適合セザルモノアリト認メタルトキハ其ノ検査ハ之  
 フ中止ス

前項ノ規定ニ依リ検査ヲ中止シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シ  
 十日以内ニ不備ノ點ヲ補正シテ検査ヲ受クルニ非ザレバ其ノ  
 麻、三種又ハ楮ニ付既ニ爲シタル検査申請ハ効力ヲ失フモノ  
 トス

第二十二條 農産物検査吏員検査ヲ行ヒタルトキハ其ノ検査等級  
 ニ應ジ票箋ニ様式第四號ノ検査等級證印及様式第六號ノ検査  
 證印ヲ押捺シ中央緊縛部ニ様式第五號ノ検査封緘紙ヲ以テ巻  
 封シ之ニ様式第六號ノ検査證印ヲ押捺ス

第二十三條 農産物検査吏員第二十四條第二十五條又ハ第二十六  
 條ノ規定ニ依リ再検査ヲ行ヒ前検査等級ト異リタル検査等級  
 ヲ決定シタルトキハ其ノ検査等級ニ應ジ其ノ票箋ノ裏面ニ様

00348

式第四號ノ検査等級證明ヲ押捺シ検査年月日ヲ記入シタル上  
 様式第六號ノ検査證明ヲ押捺シ検査封緘紙ヲ取換ヘ前検査等  
 級證明ハ之ヲ抹消ス前検査等級ト同一ノ検査等級ヲ決定シタ  
 ルトキハ其ノ票箋ノ裏面ニ検査年月日ヲ記入シ様式第六號ノ  
 検査證明ヲ押捺ス

第二十四條 検査申請者ニシテ検査等級ノ決定ニ對シ異議アルモ  
 ノハ其ノ検査ノ終了シタル日ヨリ起算十日以内ニ其ノ異議  
 ノ事由、麻、三極又ハ楮ノ種類、検査等級別數量、所在地、  
 前検査年月日及受檢希望日時ヲ記載シタル書面ヲ以テ農産物  
 検査所長ニ再検査ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ再検査ノ申請アリタル場合ハ前検査ニ關與  
 セザリシ農産物検査吏員ヲシテ之ガ検査ヲ行ハシム  
 第一項ノ規定ニ依リ再検査ニ於テ決定シタル検査等級ニ對シ  
 テハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十五條 麻、三極又ハ楮ノ票箋ニ押捺シタル検査等級證明、  
 検査證明又ハ検査免除印ヲ抹消スルトキハ様式第八號ノ消印  
 ヲ用フ

第三章 取 締

第二十六條 検査済ノ麻、三極又ハ楮ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當  
 スルモノハ更ニ検査ヲ受クルニ非ザレバ之ノ受渡シ又ハ移出

スルコトヲ得ズ  
 一 荷造ヲ毀損シ又ハ改装シタルモノ  
 二 検査等級證明又ハ検査證明ノ不明瞭トナリタルモノ  
 三 検査封緘紙又ハ票箋ヲ毀損シ若ハ亡失シタルモノ  
 四 變質シ若ハ著シク濕氣ヲ受ケタルモノ又ハ重量ヲ減シタル  
 モノ

第二十七條 農産物検査吏員必要アリト認ムルトキハ検査済ノ麻  
 三極又ハ楮ニ對シ再検査ヲ行フコトヲ得  
 前項ノ規定ニ依リ検査ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ  
 得ズ

第二十八條 検査済若ハ検査ヲ受ケタル麻、三極又ハ楮ニ商標荷印  
 其ノ他ノ表示ヲ爲サントスル者ハ其ノ事由、表示方法及實形  
 圖ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ豫メ農産物検査所長ノ承認ヲ受ケ  
 ベシ其ノ記載事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ  
 農産物検査所長必要アリト認ムルトキハ前項ノ承認ヲ取消ス  
 コトヲ得

第二十九條 検査済ノ麻、三極又ハ楮ヲ解裝シタルトキハ其ノ票  
 箋及検査封緘紙ヲ直ニ破棄スベシ

第三十條 検査済ノ麻、三極又ハ楮ヲ降雨雪中ニ運搬シ又ハ濕氣  
 ヲ著シク吸收シ易キ場所ニ置クトキハ防濕ニ必要ナル設備ヲ

00349

爲シ

第三十一條 運送業者又ハ運送取扱業者ハ本令ニ依リ検査ヲ受ケ  
 ベキ麻、三極又ハ楮ニシテ其ノ検査ヲ受ケザルモノヲ検査場  
 所以外ニ運送シ又ハ運送ノ目的ヲ以テ之ヲ取扱フコトヲ得ズ

第三十二條 農産物検査吏員又ハ警察官吏本令違反ノ事實アリト  
 認メタルトキハ麻、三極又ハ楮ノ所在場所ニ臨檢シ、關係帳  
 簿ヲ閱覽シ又ハ其ノ運搬停止若ハ保管又ハ關係資料ノ提出ヲ  
 命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ臨檢、閱覽及命令ハ正當ノ理由ナクシテ之  
 ヲ拒ムコトヲ得ズ

第四章 罰 則

第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金、拘  
 留又ハ科料ニ處ス

一 第三條、第十二條、第十三條第二項、第二十六條、第二  
 十七條第二項、第二十八條第一項、第二十九條乃至第三十  
 一條又ハ第三十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 不正ノ手段ニ依リ検査ヲ受ケ若ハ受ケントシタル者又ハ  
 検査ヲ免ルル爲メ不正ノ行爲ヲ爲シタル者

三 検査済ノ麻、三極又ハ楮ニ不正ノ手段ヲ施シタル者  
 四 故ナク検査済ノ麻、三極又ハ楮ノ検査等級證明又ハ検査

證明ヲ抹消シ若ハ變造シ又ハ検査封緘紙若ハ票箋ヲ破棄シ  
 タル者

五 検査済麻、三極又ハ楮ノ票箋若ハ検査封緘紙ヲ不正ニ使  
 用シ又ハ票箋ノ記載事項ヲ改竄シタル者

第三十四條 本令ニ依リ義務者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居  
 者、雇人其ノ他ノ從業者ガ本令ニ違反シタルトキハ自己ノ指  
 揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第三十五條 本令ノ規定ニ違反シタル者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ  
 者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行  
 スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理  
 人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル  
 未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 様式第一號 票 箋

縣	市郡	町
受檢者	年産何々	
重量		
昭和 年 月 日	検査	貫



00350

用紙ハ強靱ナル模造紙トスルコト

長 四寸  
幅 二寸

備考 記載事項中「何々」ハ麻、三極又ハ楮ノ種類ニ依リ「大  
麻(皮麻)」、「大麻(精麻)」、「苧麻」、「黃麻」、「三極  
黑皮」、「三極(地氣)」、「三極(白皮)」、「楮(黒皮)」、「楮  
(未晒)又ハ「楮(白皮)」ト記載スルモノトス

樣式第二號 證 票 用紙ハ模造紙 長三寸 幅二寸

面 表

第 號  
農 產 物 檢 查 吏 員 證  
職 氏 名

面 裏

年 月 日 交 付  
鳥 取 縣 團

樣式第三號 檢 查 申 請 書

檢 查 申 請 書

昭和 年 月 日

住 所 氏 名

出 張 所 御 中

名

鳥取縣農產物検査所 出張所御中

生 産 年 度 昭和 年 産 番 別 種 類 並 ニ 數 量  
仕 向 先 檢 査 手 數 料 圓 錢 受 檢 場 所 月 日 貫 根

欄付貼票證收納料數手査檢

備考 種類並ニ品目欄ニハ「大麻皮麻」、「大麻精麻」、「苧麻」  
「黃麻精製品」、「黃麻粗製品」、「三極黑皮」、「三極地  
氣」、「三極白皮」、「楮黒皮」、「楮未晒」又ハ「楮白皮」  
ト記載スルコト

00351

樣式第四號

檢 査 等 級 證 印

徑 八 分 肉 色 紫

特 等 (特等)

一 等 (壹等)

二 等 (貳等)

三 等 (參等)

四 等 (四等)

五 等 (五等)

等 外 (等外)

苧麻ノ等外乙ニハ等外用ノモノヲ二箇押捺ス

樣式第五號

檢 査 封 緘 紙 長五寸 幅一寸 刷色青長三寸

特 等

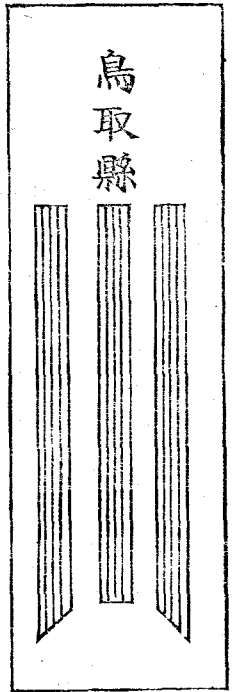
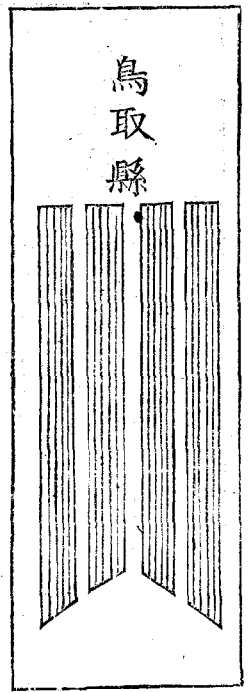
鳥 取 縣

86800

00353

四等

三等



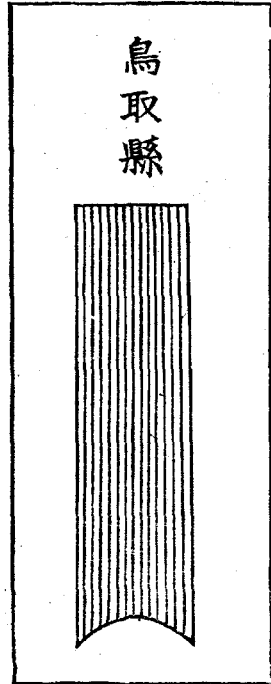
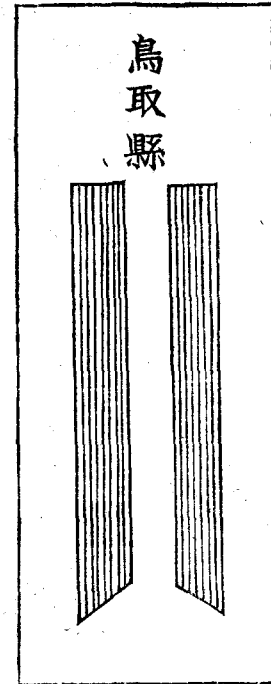
幅一分ノ縦線四本

兩側及中央ニ幅一分三厘ノ縦線三本

00352

二等

一等

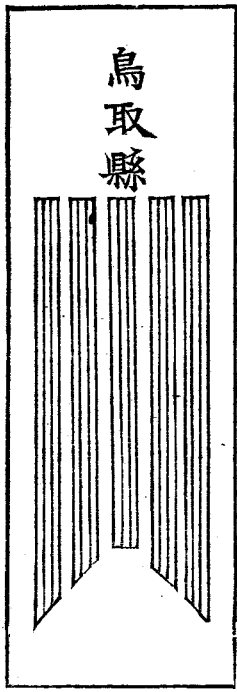


兩側ニ幅二分五厘ノ縦線二本

中央ニ幅五分ノ縦線一本

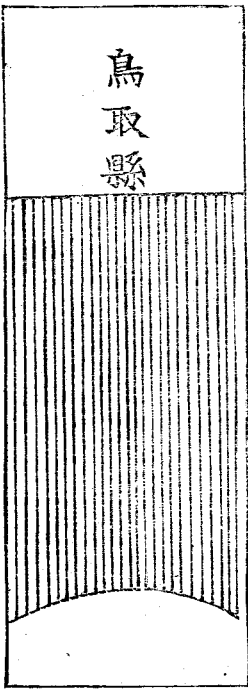
00354

五等



幅六厘ノ縦線五本

等外



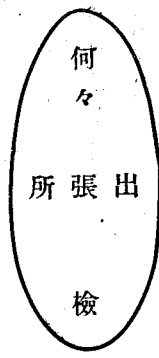
全部刷

00355

様式第六號

檢査證印

長徑六分 短徑三分 肉色紫



様式第七號

檢査免除印

徑一寸 肉色紫



様式第八號

消

印

徑三分 肉色紫



◇鳥取縣令第五十八號

麻、三極、栴檢査手數料規則左ノ通定ム

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事

入田三郎

00356

麻、三種、楮検査手数料規則

第一條 麻、三種、楮検査規則(以下單ニ検査規則ト稱ス)第十條ノ検査手数料左ノ如シ

大麻一捆ニ付 金 八 錢  
 苧麻一捆ニ付 金 十 錢  
 黃麻一捆ニ付 金 八 錢  
 三種、楮一捆ニ付 金 五 錢

検査規則第八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ特別ノ重量ト爲シタルモノノ検査手数料ハ各一貫ニ付大麻、苧麻、三種及楮ハ金二錢黃麻ハ金一錢トス

第二條 検査規則第二十一條第二項ニ該當スルモノノ既納手数料

ハ之ヲ還付セズ

第三條 検査規則第二十四條ニ依ル再検査ノ検査手数料ハ検査等級ノ決定方前検査ト異リタルトキハ之ガ納付ヲ免除ス

第四條 検査規則第二十六條第二號若ハ第三號ニ該當スルモノノ再検査及検査規則第二十七條ノ再検査ニ付テハ検査手数料ヲ徴收セズ

第五條 検査手数料ハ検査規則第十一條ノ検査申請書ニ鳥取縣穀物検査手数料納收證書ヲ貼付シテ之ヲ納付スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

訓 令

◇鳥取縣訓令甲第二十三號

農 產 物 檢 査 所 長

昭和十三年十一月二十八日鳥取縣訓令乙第三百四十五號干甘藷検査規則施行手續昭和十五年十月二十九日鳥取縣訓令甲第三十三號干藷検査施行手續ハ公布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鳥取縣知事 八 田 三 郎

00357

◇鳥取縣訓令甲第二十四號

兵 事 官  
 市 村 長  
 町 學 校 長  
 青 年 學 校 長

鳥取縣徵兵事務規程中左ノ通改正ス

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

第六條中「一月一日」ヲ「十二月一日」ニ、「二月十日」ヲ「十二月二十五日」ニ、「一月二十日」ヲ「一月十五日」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

壯丁人員表ハ本籍地ニ於テ徵兵検査ヲ行フベキ者、朝鮮ニ於テ徵兵検査ヲ行フベキ者、臺灣ニ於テ徵兵検査ヲ行フベキ者及滿洲國(關東州ヲ含ム)ニ於テ徵兵検査ヲ行フベキ者毎ニ各別ニ之ヲ作り其ノ區分ヲ右ノ欄外ニ記スベシ

(本籍、朝鮮、臺灣又ハ滿洲國ト記ス)

第八條四號中(2)「寄留地受檢」ヲ「寄留地身體検査受檢」ニ、「(6)「高等小學校」ヲ「國民學校高等科」ニ、「(高小一修)」ヲ「(國高一修)」ニ、「尋常小學校」ヲ「國民學校初等科」ニ、「(尋小卒)」ヲ「(國初了)」ニ、「(尋一修)」ヲ「(國初一修)」ニ、「(小學校」ヲ「國民學校」ニ改メ(8)「生年月日、身長票」及「生年月日」ヲ削ル

第九條五號中(2)「寄留地受檢」ヲ「寄留地及在留地受檢地」ニ改メ七、「家政ヲ補助シ得ル」ヲ削ル

第二十條三號中「職業能力申告手帳」ヲ「國民勞務手帳(職業能力申告手帳)ニ改メ次ニ「國民體力手帳」ヲ加フ

第二十七條中「検査前日正午迄」ヲ「検査前日午前十時迄」ニ、「一三號中」ニ改メ左ノ一號ヲ加フ

一四、X線検査連名簿(縣ヨリ送付)正副二通

00358

第七章「寄留地検査及特別検査」ヲ「寄留地(在留地)身體検査及特別身體検査」ニ改ム、  
 第三十八條中「寄留地受檢通常願」ヲ「寄留地身體検査受檢通常願」ニ改ム、  
 第三十九條中「寄留地受檢臨時願」ヲ「寄留地身體検査受檢臨時願」ニ改ム、  
 第四十條中「寄留地受檢」ヲ「寄留地身體検査受檢」ニ、「寄留地受檢取消願」ヲ「寄留地身體検査受檢取消願」ニ改ム、  
 第四十一條中「特別検査」ヲ「特別身體検査」ニ改ム、  
 第四十二條中「在留地検査期間内」ヲ「在留地身體検査期間内」ニ改ム、  
 第四十三條 朝鮮、臺灣、關東州又ハ滿洲國ニ在留スル者ハ、徵兵検査ヲ受クベキ年ノ一月十日迄ニ在留地徵兵検査受檢届ヲ在留地兵  
 事官ニ差出スベシ  
 受檢届ノ様式ハ徵兵適令届ノ様式ニ準ズ  
 第四十三條ノ二 受檢届差出後検査開始前迄ニ在留地ヲ變更シタル者ハ在留換受檢届ヲ、受檢届差出期限後新ニ在留スル者ハ在留地  
 徵兵検査受檢臨時届ヲ又ハ在留セザルニ至リタルトキハ受檢取消届ヲ直チニ最初願出デタル在留地兵事官ニ差出スベシ  
 第四十三條ノ三 在留地兵事官ヨリ受檢届、在留換受檢届、臨時届又ハ取消届ヲ受理シタル旨ノ通知アリタルトキハ兵事官ハ之ヲ町  
 村長ニ通知ス  
 第四十三條ノ四 天津、北京、張家口、石門、大原、厚和、除州、山海關、濟南、芝罘、青島、上海、南京、漢口、廣東又ハ厦門ニ  
 在留シ在留地ニ於テ身體検査ヲ受ケントスル者ハ三月三十一日迄ニ左記様式ニ依ル在留地身體検査受檢願ヲ在留地徵兵事務官ニ  
 差出スベシ  
 願書差出後検査開始前迄ニ轉籍シタル者、在留地ヲ變更シタル者又ハ検査願ノ取消ヲ爲サントスル者ハ直チニ其ノ旨最初願出デ  
 タル在留地徵兵事務官ニ届出ツベシ

(用紙適宜)

在留地身體検査受檢願

00359

本籍地  
 在留地  
 戸主某「長(二)男」兄弟(本人戸主ナルトキハ戸主ト記スベシ) 氏  
 生年月日  
 本人 氏 名  
 在留地徵兵事務官 何官(職)殿

右在留地ニ於テ徵兵身體検査受檢致度候ニ付御許可相成度候也

第四十三條ノ五 三月三十一日迄ニ願出能ハザリシ者ハ本人本籍地徵兵検査期日一ヶ月前迄ニ願出ルコトヲ得  
 在留地徵兵事務官ヨリ在留地身體検査受檢願ヲ受理シタル旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ兵事官ハ之ヲ町村長ニ通知ス  
 第四十九條中二、三、四、五號ヲ左ノ通ニ改メ六號ヲ三號トス  
 二、朝鮮、臺灣、關東州 在留地兵事↓町村長該當者↓本人  
 及滿洲在留者  
 第五十條ニ左ノ一項ヲ加フ  
 前項ノ願書ニハ本人ト戸主トノ續柄ヲ明記スベシ  
 第五十四條中「學校教練合格證明書」ノ次ニ「及體力手帳」ヲ加フ  
 第六十一條 第三項ヲ削ル  
 附錄第一様式中「二月一日調」ヲ「十二月一日調」ニ(調製上ノ注意)中「其ノ年」ヲ「翌年」ニ「前年」ヲ「其ノ年」ニ改ム

00360

附錄第四樣式中「尋小卒」ヲ「國初了」ニ「高小卒」ヲ「國高了」ニ改ム  
 附錄第七樣式中一、ニ左ノ一項ヲ三、技術證明書ノ次ニ「職業能力申告手帳、體力手帳」ヲ加ヘ七、「寄留地受檢」ヲ「寄留地身體  
 檢査受檢」ニ改ム  
 尙前日ハ、線檢査及學力調査ヲ實施セラル、ニ付正午迄ニ徵兵署へ出頭スルコト  
 附錄第一四樣式ヲ左ノ通改ム  
 附錄第一四樣式(第二十七條)

徵兵檢査受檢人員調查書

種別	十二月一日調		本年適齡者	前年處分未濟者	計	備考
	員壯丁	員丁				
異動	増	減				
檢査人員	檢査人員	檢査人員				
受檢人員	受檢人員	受檢人員				
差引受檢人員	本籍受檢	寄留受檢				
其他ノ受檢人員	入寄	入寄				
受檢者	計	計				
總員	總員	總員				

00361

受檢セザル人員内譯表

種別	十二月一日調		檢査當日	人員	人員
	適齡者	前年處分未濟者			
在學					
在外					
監入					
不所					
届無					
病疾					
編入					
法三七					
計					
地内					
地外					
員船					
計					
所七年以上					
不該當者					
其他					

附則

本令ハ昭和十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

告示

鳥取縣告示第八百二十一號

價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル支那產蠶豆及豌豆ノ最高販賣價格左ノ通り指定ス

昭和十六年十月十六日

品目	銘柄	單位	鳥取縣知事	入田三郎	地方雜穀配給機關最高販賣價格
支那產蠶豆					二五、三九
同 豌豆	精撰品	同			二九、〇六
同 豌豆	普通品	同			二七、〇四

- 一 地方雜穀配給機關トハ雜穀配給統制規則第八條ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル者ヲ謂フ
- 二 地方雜穀配給機關以外ノ販賣業者ノ最高販賣價格ハ本表價格ニ依ルモノトス
- 三 本表價格ハ賣主店先渡價格トス

◇鳥取縣告示第八百二十二號

食肉配給統制規則第三條ノ規定ニ依リ左ノ通り指定ス

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 入田三郎

鳥取縣畜產組合聯合會

◇鳥取縣告示第八百二十三號

青年學校令施行規則第三十二條第二號ノ規定ニ依リ左ノ施設ノ課定ヲ認定ス

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 入田三郎

鳥取縣師範學校講習科

◇鳥取縣告示第八百二十四號

價格統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ左ノ通價格ヲ認可シ同條第二項ノ規定ニ依リ指定地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニシテ組合員ニ非ザル者ニ付テモ本認可價格ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 入田三郎

- 一 組合ノ名稱及地區
  - (イ) 名稱 因幡瓦工業組合
  - (ロ) 地區 鳥取市、氣高郡及岩美郡ノ津ノ井村、米里村
- 二 構成員タル資格
 

地區内ニ於テ瓦ノ製造ヲ業ト爲ス者
- 三 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

等級	單位	生産者最高販賣價格	最終最高販賣價格
一等品	一枚	〇、一七	〇、一九
二等品	同	〇、一六	〇、一八
三等品	同	〇、一三	〇、一五

(一) 防空色施釉瓦迷彩色釉ヲ施シタル表面上ニ異色着色材ニテ斑點ヲ畫キ更ニ食塩揮發釉ヲ施セルモノ

(二) 食塩瓦 (食塩揮發釉ヲ施シ赤褐色ヲ呈セルモノ)

00364

等 級	單位	生産者最高販賣價格	最終最高販賣價格
一 等 品	一 枚	〇、一二五	〇、一四〇
二 等 品	同	〇、一二〇	〇、一三五
三 等 品	同	〇、一一〇	〇、一二五
四 等 品	同	〇、一〇〇	〇、一一〇

- 1 本表價格ハ引掛機瓦平版ノ價格ニシテ役身ノ價格ハ本表價格ノ二倍機斗瓦ノ價格ハ本表價格ノ八掛トス
  - 2 生産者最高販賣價格ハ生産者工場渡ノ價格トス
  - 3 最終最高販賣價格ハ賣主店先渡價格トス但シ生産地町村以外ノ地ニ在リテハ生産者工場ヨリ當該販賣所ニ到ル迄ノ運賃實費ヲ加算スルコトヲ得
  - 4 本表價格ハ因幡瓦工業組合ノ検査ニ合格シ其ノ旨表示シタルモノ、價格トス
- (ロ) 實施ノ日 昭和十六年十月十六日
- 四 認可ニ附シタル條件
- (イ) 價格等統制上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ
- (ロ) 認可價格及實施ノ日ヲ組合員ノ營業所ニ揭示スベシ

◇鳥取縣告示第八百二十五號

鳥取都市計畫驛前土地區劃整理施行規程中變更ノ件認可セリ  
昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

◇鳥取縣告示第八百二十六號

鳥取都市計畫湯所町土地區劃整理施行規程中一部變更ノ件認可セリ  
昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

◇鳥取縣告示第八百二十七號

鳥取都市計畫立川土地區劃整理施行規程中一部變更ノ件認可セリ  
昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

◇鳥取縣告示第八百二十八號

農會法第六條ノ二ノ規定ニ依リ本縣ニ於テ農會ノ行フ農業勞働力調整ニ關スル統制施設左ノ通り定ム  
昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

- 一 農會ノ行フ農業勞働力調整ニ關スル統制施設
- (一) 共同作業ノ統制
- (二) 農業移動勞働ノ統制
- (三) 役畜及農機具利用並移動ノ統制
- 二 農會ノ行フ農業勞働力調整ニ關スル統制施設ノ種目
- 1 共同耕作ノ種目
  - 2 共同採種
  - 3 共同苗代
  - 4 共同田植
  - 5 共同除草
  - 6 共同收穫
  - 7 共同脱穀
  - 8 共同製糶
  - 9 共同播種
  - 10 共同運搬

00365



00366

11 共同灌溉

(二) 役畜及農機具ノ種類

1 役 畜

役牛馬

2 農機具

(イ) 石油發動機

(ロ) 電動機

(ハ) 噴霧機

(ニ) 動力脱穀機

(ホ) 動力糶摺機

(ヘ) 動力糶摺選別機

(ト) 動力精米機

(チ) 動力揚水機

(リ) 畜力除草機

(ヌ) 自動耕耘機

(ル) 作耕犁

(ヲ) 碎土機

(ワ) 製繩機

◇鳥取縣告示第八百二十九號

鳥取縣諸類配給統制規則施行細則第四條ノ地區並ニ配給者左ノ通指定ス

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 入 田 三 郎

指 定 スル 地 域

指 定 配 給 者

鳥取市、岩美郡、八頭郡、氣高郡

株式會社鳥取青果卸賣市場

東伯郡

倉吉青果市場株式會社

米子市、西伯郡、日野郡

有限會社米子青果卸賣市場

00367

◇鳥取縣告示第八百三十號

小鴨村土地區劃整理組合長及組合副長左記ノ通選任ノ件昭和十六年十月十六日認可セリ

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 入 田 三 郎

鳥取縣東伯郡小鴨村大字生田

組 合 長

水 谷 庄 藏

鳥取縣東伯郡小鴨村大字北野

組 合 副 長

山 本 永 壽

◇鳥取縣告示第八百三十一號

鳥取都市計畫場所町土地區劃整理設計書ノ件認可セリ

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 入 田 三 郎

◇鳥取縣告示第八百三十二號

鳥取都市計畫立川土地區劃整理設計書ノ件認可セリ

昭和十六年十月十六日

鳥取縣知事 入 田 三 郎